

令和4年2月25日

令和3年度 三原市一校一貢献事業実施報告書

三原市立第五学校
校長 池田 彰夫

1 実施期間 令和3年4月6日 ～ 令和4年3月25日

2 取組

(1) 概要

本校は、学校教育目標である「豊かな心と表現力を養い、仲間と共に社会貢献できる、たくましい生徒の育成」に伴い、社会に貢献しようとする志を抱く生徒の育成をめざして、ボランティア活動に積極的に取り組んでいる。

「先輩・後輩に」「保護者の方に」「地域のお年寄りに」「市内の小中学生に」「市民の皆さんに」など様々な方々につながり、感謝され、地域を元気にできた等という達成感を味わわせ、次の行動への意欲につなげる。

(2) 具体的実践内容

○4月27日(金) 清掃活動

生徒会執行部と環境委員会・有志約30名で、学校周辺および川土手を清掃した。清掃活動として、委員会が提案し企画・運営した。2学期のボランティア清掃へ向けての準備段階として活動し、課題などを出して、次の機会へつなげた。

○11月16日(火) 清掃活動

生徒会執行部が、総会で提案し企画・運営したボランティア活動。ボランティア部と生徒有志約120名で、清掃活動を行った。

執行部では、事前に下見を行い、清掃する場所やコースを決めた。当日は、「三密」を避け、学校から歩いて行ける範囲を6グループに分かれて活動した。日頃、ゴミはないように感じていたが、実際に丁寧に歩いてみると、空き缶、たばこなど大人たちのゴミが目立った。人目に付きにくい所を中心に、思った以上にゴミが集まった。みんなが気持ちよく通学したり、生活したりできるよう、今後とも活動を継続していく。

○清掃ボランティア 3学期継続実施

11月に行った清掃ボランティアを3学期にも継続して行う予定。

(3) 成果

- ・昨年度の課題であった、中学校全体としての取組を、生徒会執行部が中心となって企画・運営して実施することができた。また、昨年度より多くの生徒たちが集まり、ボランティアの輪が広がりつつあることを感じた。
- ・コロナウイルスの影響により、大会や演奏会、イベントなどが中止となり、人々と接したり日々の活動を発表したりする機会は減ったが、生徒たちが創意工夫して地域への貢献活動を展開することができた。
- ・学校を支え応援してくださる地域の方々への感謝の思いを「清掃」という形で届けることができた。
- ・生徒たちが日頃培った力を発揮することで、地域の方々へ元気を届けることができた。

(添付資料)

○4月27日(火曜日) 環境委員会清掃活動



○11月16日(火曜日) 清掃ボランティア

